

見守り 新鮮情報

事例1

夜、自宅の鍵を紛失したことに気がつき、**ネットで見つけた**鍵交換業者に連絡すると「通常**5千円～3万円**。最高で**5万円**」と言われた。作業前に料金を確認したが返事がないまま作業され、作業後約**10万円**の**高額な請求**を受けた。(70歳代)

鍵の出張作業を頼んだら 想定外の料金に!



事例2

自宅の鍵を紛失し、**ネットで探した**事業者が開錠を**依頼**した。サイトには開錠費用が「**3千円～8千円**」と記載されていた。作業前に費用の説明があったかもしれないが、聴覚などの障がいがあるので**うまく聞こえず**、早く開けてほしい**焦り**もあって返事をしてしまったかもしれない。請求額は約**6万円**で**高額**だ。(30歳代)

ひとこと助言

焦らず
納得できるまで!



- 鍵の紛失等に気づいたら、まずは慌てず、家族や周りの人に相談しましょう。
- 時間帯や現場の状況により、ネットの広告に表示された料金で依頼できるとは限りません。焦らず、作業してもらう前に納得できるまで説明を求め、作業内容と料金は必ず書面で確認しましょう。
- 料金や作業内容に納得できない場合は、後日納得した金額で支払う意思があることを示しつつ、その場での支払いは断りましょう。
- 緊急時に備え、所有する鍵の種類やメーカーなどを確認し、信頼のおける事業者の情報を調べておくとう安心です。賃貸住宅の場合は大家や管理会社に対応方法を確認しておきましょう。
- 広告などの表示額と実際の請求額が大きく異なる場合など、事業者とトラブルになった場合は、早めにお住まいの自治体の**消費生活センター**等にご相談ください(消費者ホットライン188)。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第506号 (2025年3月6日) 発行：独立行政法人国民生活センター

長崎市消費者センター (長崎市築町3番18号メルカつきまち4階)

相談専用電話 **095-829-1234** または **消費者ホットライン 188**

時間 10時～17時 (土日祝も可 月曜定休)